

2016/9/23

柏の景気情報（平成28年8月分）

柏 商 工 会 議 所

（本件担当） 柏商工会議所 中小企業相談所 経営支援課
〒277-0011 千葉県柏市東上町7-18
TEL : 04-7162-3305
FAX : 04-7162-3323
URL : <http://www.kashiwa-cci.or.jp>
E-mail : info@kashiwa-cci.or.jp

柏の景気情報（平成28年8月分）

○ 調査期間 : 平成28年8月25日 ~ 平成28年9月7日

○ 調査対象 : 柏市内156事業所及び組合にヒアリング

＜産業別回収状況＞

調査産業	調査対象数	回答数	回収率
全産業	156	77	49.4%
建設	44	23	52.3%
製造	33	17	51.5%
卸・小売	43	23	53.5%
サービス	36	14	38.9%

○ 調査方法 : 下記「質問A」をDI値集計し、「質問B」で「業界内のトピック」の記述回答。
と調査表

質問A

質問事項	回答欄					
	前年同月と比較した 今月の水準			今月の水準と比較した向 こう3ヶ月の先行き見通し		
a.売上高 (出荷高)	1 増加	2 不変	3 減少	1 増加	2 不変	3 減少
b.採算 (経常利益ベース)	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
c.仕入単価	1 下落	2 不変	3 上昇	1 下落	2 不変	3 上昇
d.従業員	1 不足	2 適正	3 過剰	1 不足	2 適正	3 過剰
e.業況	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
f.資金繰り	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化

質問B 業界内のトピック(記述式)

DI値 = 1 増加他の回答割合 - 3 減少他の回答割合

※ DI値(景況判断指数)について

DI値は、売上、採算、業況などの項目についての判断状況を表す。0(ゼロ)を基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※ DI値と景気の概況

DI ≥ 50	50 > DI ≥ 25	25 > DI ≥ 0	0 > DI ≥ ▲25	▲25 > DI
特に好調	好調	まあまあ	不振	極めて不振

【平成28年8月の調査結果のポイント】

◀業況DIは悪化。先行きは依然として厳しく、慎重な見方が続く。▶

○8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲33.7(前月水準▲23.6)となり、マイナス幅が10.1ポイント拡大した。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、製造業▲23.5(同▲47.0)である。プラスからマイナスに転じた業種は、建設業▲17.3(同±0.0)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲65.2(同▲39.1)、サービス業▲21.4(同▲6.6)であり、特に卸小売業ではマイナス幅が26.1ポイント拡大した。

【建設業】からは、「熊本地震以降、耐震補強に関するお問い合わせが増加している。」(一般土木建築工事業)、「元請企業の景況が即下請けに影響してくる。経費の負担も多く、積算に苦慮している。」(電気工事業)、「8月は休みが多く売上減少も、熊本県産の畳表で、へり無し畳を希望するお客様が増加。」(内装工事業)、などのコメントが寄せられた。

【製造業】からは、「先月に引き続き受注は好調をキープ。しかしながら短期納期案件が多く、納期確保に苦慮している。」(その他の機械・同部品製造業)、「今年は災害の多い年で、経済への影響が大きくなっている。個々の経済に影響があると、全体の経済も成り立たなくなってくるため、自社の業務内容についても一考していきたい。」(印刷業)などのコメントが寄せられた。

【卸小売業】からは、「店舗屋上の防水加工、大型看板の付け替え工事、LED照明への変更など、老朽化に対する設備投資を実施した。」(その他の各種商品小売業)、「夏季の売れ筋商品である冷菓の売上が伸び悩んだ。」(菓子・パン小売業)、「青果物の動向として、8月上旬は入荷単価は増加傾向にあったが、オリンピック開催後は徐々に消費が減少に推移。また、台風の影響により産地に被害が出たため、一部品目が不足になり、総じて野菜・果実ともに単価安取引の傾向となっている。これから秋のイベントシーズンになるため、需要と供給をバランスよく対応できるようにしていきたい。」(食料・飲料卸売業)などのコメントが寄せられた。

【サービス業】からは、「8月は宴会等の予約が減り、売上の低下があった。」(酒場・ビヤホール)、「インターネットとの比較購入が増え、商品注文前にお客様の見積もり依頼が増えている。ネット情報を検索してから見積もりを出すため、利益が乗せにくくなっている。会員割引販売を継続しているため、来店数は変わらないが、利幅が薄くなっている。」(その他の飲食料品小売業)、「個人旅行に関しては、新しいアトラクションが増えているUSJにリピーターが増えている。法人需要については、羽田空港国際線増便のためか、柏周辺のお客様の羽田利用希望が増えている。また、秋の旅行シーズンにより職場旅行、学校関連行事が増え、貸切バスの手配が難しくなっている。」(旅行業)、「低額物件の動きは活発。価格は若干上昇傾向にあり、問い合わせ件数は増えているものの、契約までの期間が長くなっている。」(不動産管理業)、「マイナス金利による低金利もあって、資金繰りに若干余裕が生まれた。今後、金利上昇に転じても余裕が持てるように資金繰りの改善に努めていきたい。」(不動産賃貸・管理業)、などのコメントが寄せられた。

◎天候不順(売上減少)

各業種より、「天候の影響で工程のずれが生じ、8月の売上は減少となった。」(その他の職別工事業)、「8月後半は天候不順もあり、売上が落ち込む。秋物の出足も不調。」(婦人・子供服小売業)、「旧盆までは好調も、以降は売上低下。台風の影響もあり、客数が食品中心に落ち込んだ。衣料品は、残暑の影響で秋物は売上推移は良くない状況となった。」(その他の各種商品小売業)、「8月後半は悪天候が続いたため、客足があまり伸びなかった。」(その他の各種商品小売業)、などのコメントが寄せられた。

◎人手不足

各業種より、「盆以降、9月の引渡し物件が多い中で、人手不足も加わり9月は忙しくなっている。受注価格が厳しい中で、施工の手順・品質の向上が問われ、施工時間が増し、人手不足に拍車をかけている。また、それに加え、事務処理も複雑となり、現場作業・事務ともに人材不足が深刻化している。景況が不透明な中での増員、設備投資は不安感があり、様子見をしている状況。」(その他の職別工事業)、「人材不足から人件費が高騰しており、受注はあるものの利益が出せない状況。」(ソフトウェア業)、などのコメントが寄せられた。

◎競争激化(価格競争)

各業種より、「柏周辺は県外の小売業から見ると良い地域と映るためか、出店ラッシュが続いた。今もその影響が続いており価格競争が継続的に起きている。他店との違いをより明確にしていけないと、採算が取れない状況になっている。」(各種食料品小売業)、「7月以降から百貨店閉店セールが始まり、それに加え競合店もセール競合商品を原価割れで販売しており、その影響で売上が著しく減少。今後もその影響がしばらく続く模様。」(時計・眼鏡・光学機械小売業)、などのコメントが寄せられた。

	全産業	建設	製造	卸・小売	サービス
3月	▲25.6	▲4.7	▲44.4	▲34.6	▲15.3
4月	▲26.4	△5.8	▲37.5	▲54.1	±0.0
5月	▲33.3	±0.0	▲61.1	▲60.0	▲6.6
6月	▲27.8	▲9.0	▲35.2	▲51.8	±0.0
7月	▲23.6	±0.0	▲47.0	▲39.1	▲6.6
8月	▲33.7	▲17.3	▲23.5	▲65.2	▲21.4
見通し	▲11.6	▲4.3	△5.8	▲39.1	±0.0

見通しは今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

【平成28年8月の業況についての状況】

○ 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲33.7(前月水準▲23.6)となり、マイナス幅が10.1ポイント拡大した。

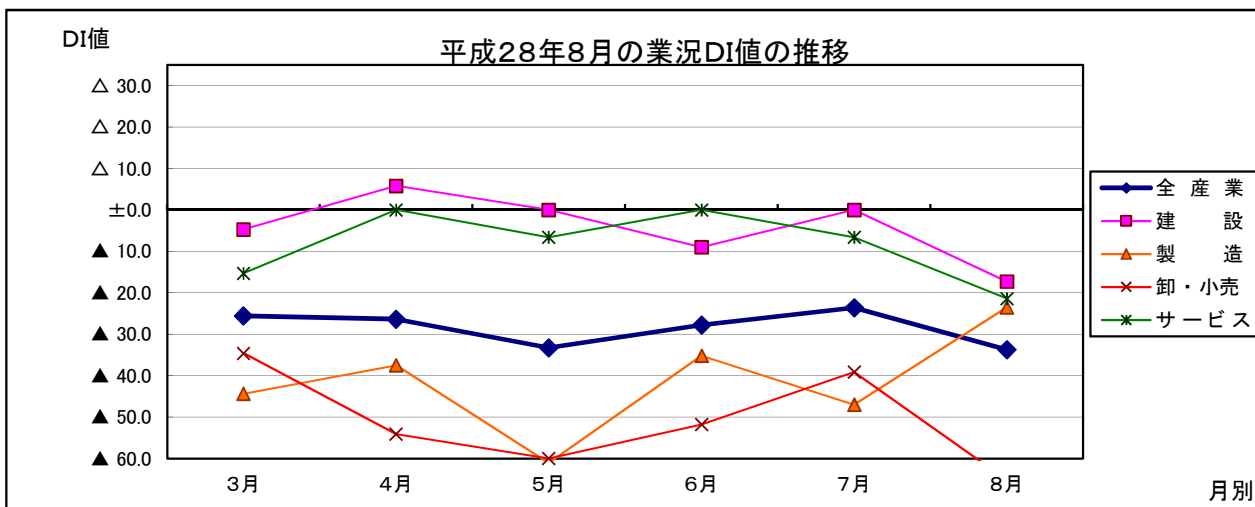
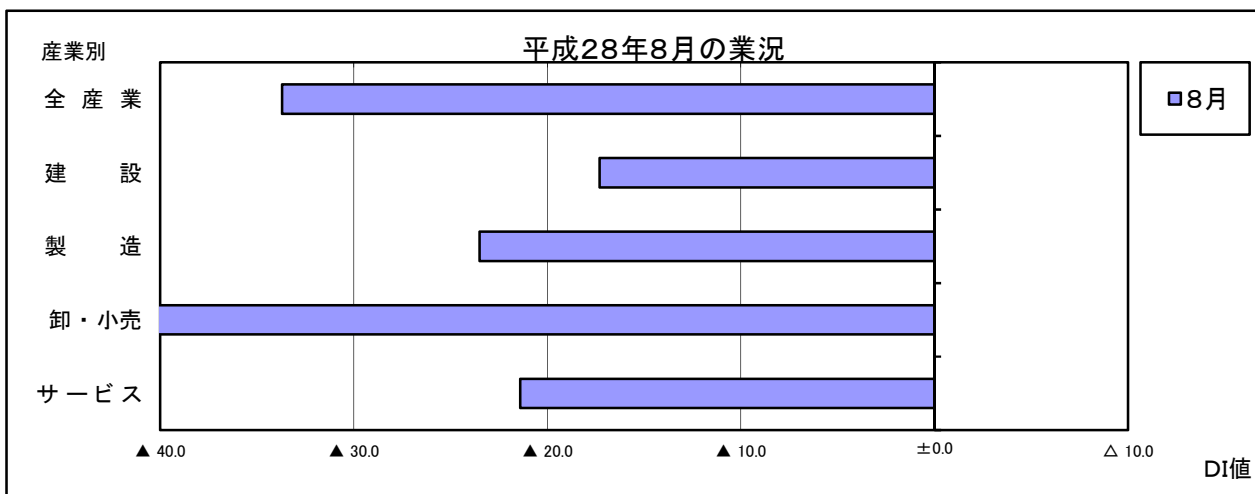
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、製造業▲23.5(同▲47.0)である。プラスからマイナスに転じた業種は、建設業▲17.3(同±0.0)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲65.2(同▲39.1)、サービス業▲21.4(同▲6.6)であり、特に卸小売業ではマイナス幅が26.1ポイント拡大した。

○ 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、▲11.6(前月水準▲14.4)となり、マイナス幅が2.8ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナスからプラスに転じる業種は、幅の大きい順に、サービス業±0.0(同▲20.0)製造業、△5.8(同▲11.7)であり、特にサービス業では△20.0ポイントと大幅に改善する見通しである。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、建設業▲4.3(同▲4.7)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、卸小売業▲39.1(同▲21.7)である。

平成28年8月業況DI値(前年同月比)の推移

	平成28年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月(8月~10月)
全産業	▲25.6	▲26.4	▲33.3	▲27.8	▲23.6	▲33.7	▲11.6(▲14.4)
建設	▲4.7	△5.8	±0.0	▲9.0	±0.0	▲17.3	▲4.3(▲4.7)
製造	▲44.4	▲37.5	▲61.1	▲35.2	▲47.0	▲23.5	△5.8(▲11.7)
卸・小売	▲34.6	▲54.1	▲60.0	▲51.8	▲39.1	▲65.2	▲39.1(▲21.7)
サービス	▲15.3	±0.0	▲6.6	±0.0	▲6.6	▲21.4	±0.0(▲20.0)



【平成28年8月の売上についての状況】

○ 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲28.5(同▲23.6)であり、マイナス幅が4.9ポイント拡大した。

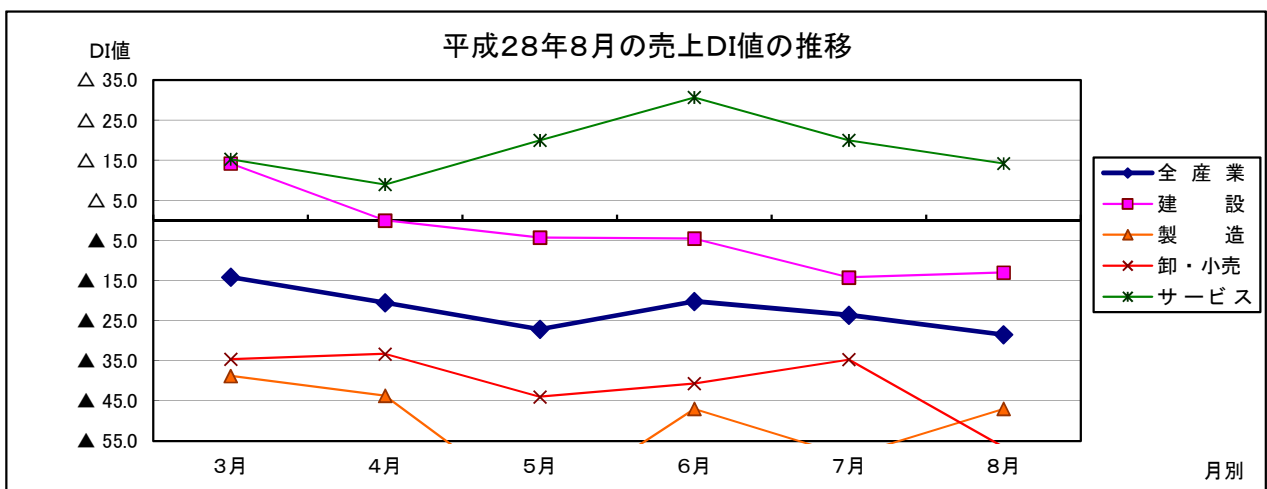
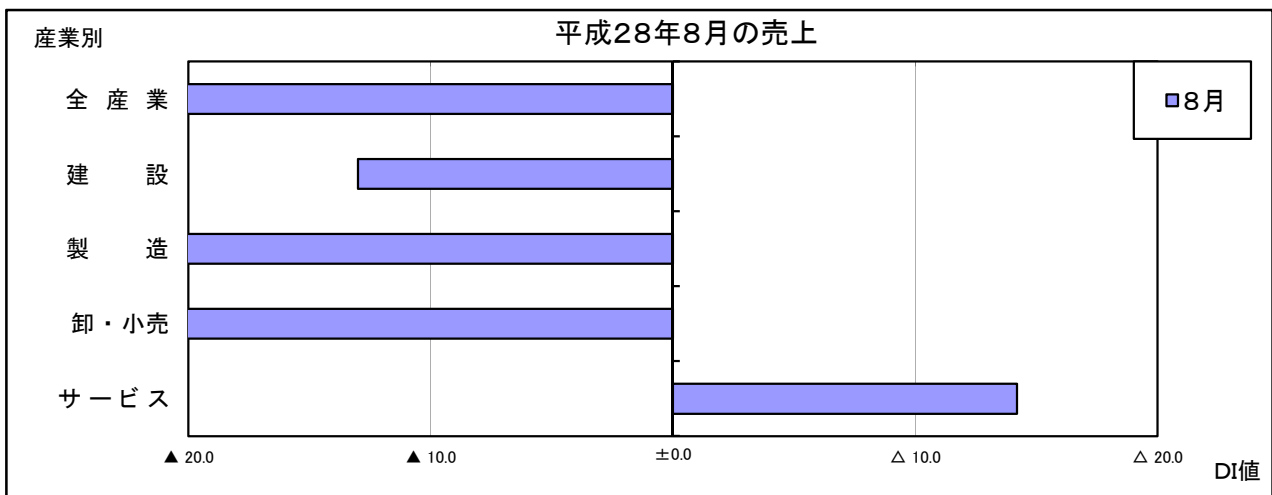
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、製造業▲47.0(同▲58.8)、建設業▲13.0(同▲14.2)である。プラス幅が縮小した業種は、サービス業△14.2(同△20.0)である。マイナス幅が拡大した業種は、卸小売業▲56.5(同▲34.7)である。

○ 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、▲6.5(前月水準▲13.9)となり、マイナス幅が7.4ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、サービス業△35.7(同△6.6)である。マイナスからプラスに転じる見込みの業種は、製造業△11.7(同▲17.6)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、建設業±0.0(同△4.7)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、卸小売業▲39.1(同▲17.3)であり、マイナス幅が21.8ポイントと大幅に拡大

平成28年8月の売上DI値(前年同月比)の推移

	平成28年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月(8月~10月)
全産業	▲14.1	▲20.5	▲27.1	▲20.2	▲23.6	▲28.5	▲2.5(▲6.5)
建設	△14.2	±0.0	▲4.3	▲4.5	▲14.2	▲13.0	±0.0(△4.7)
製造	▲38.8	▲43.7	▲72.2	▲47.0	▲58.8	▲47.0	△11.7(▲17.6)
卸・小売	▲34.6	▲33.3	▲44.0	▲40.7	▲34.7	▲56.5	▲39.1(▲17.3)
サービス	△15.3	△9.0	△20.0	△30.7	△20.0	△14.2	△35.7(△6.6)



【平成28年8月の採算についての状況】

○ 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲33.7(前月水準▲23.6)となり、マイナス幅が10.1ポイント拡大した。

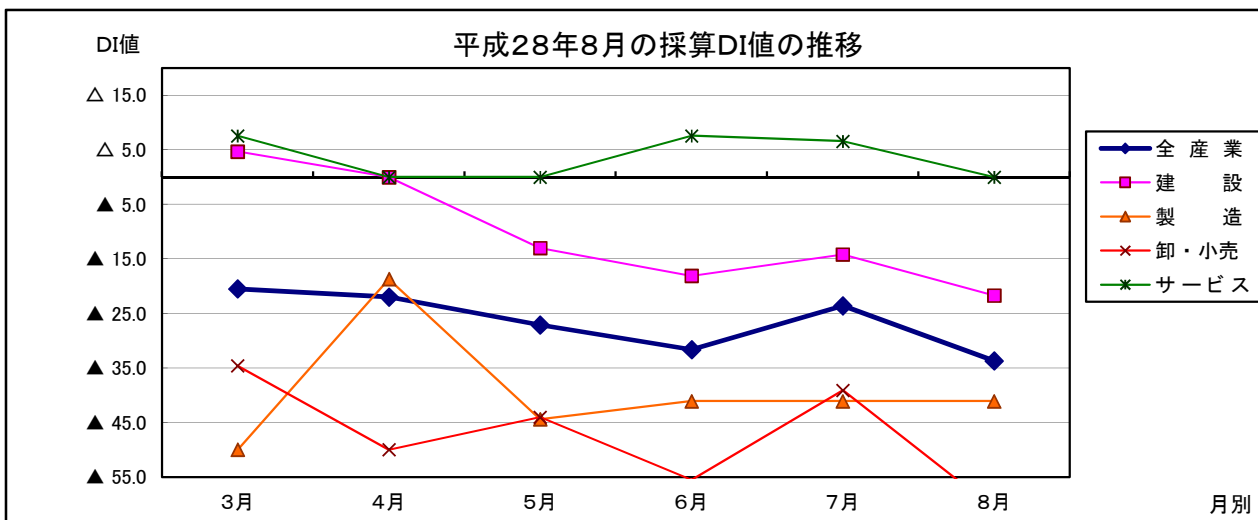
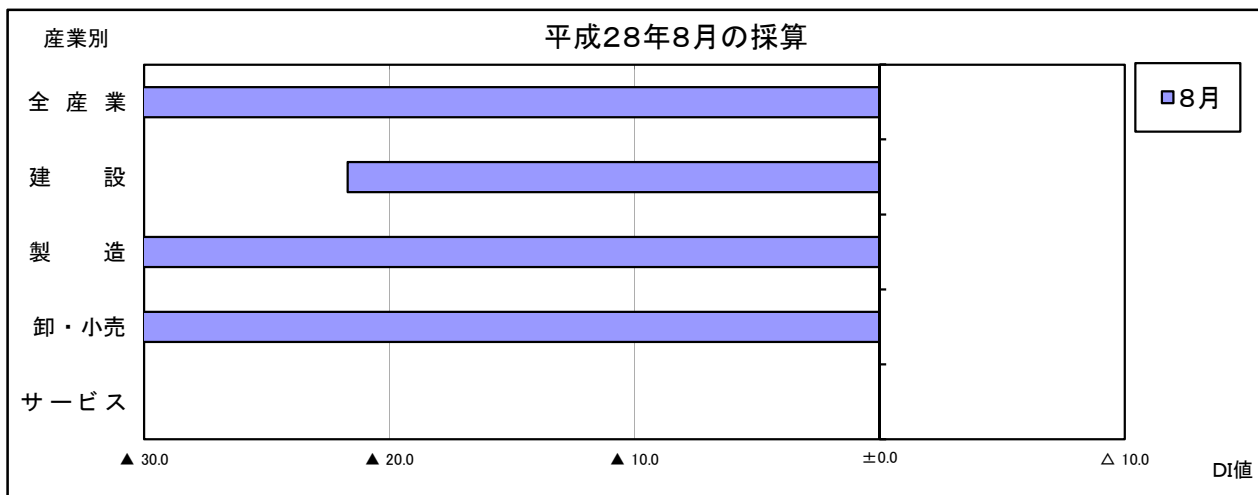
業種別では、変わらない業種は製造業▲41.1(同▲41.1)である。プラス幅が縮小した業種は、サービス業±0.0(同△6.6)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲60.8(同▲39.1)、建設業▲21.7(同▲14.2)であり、特に卸小売業ではマイナス幅が▲21.7ポイントと大幅に悪化した。

○ 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、▲11.6(前月水準▲14.4)であり、マイナス幅が2.8ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、サービス業△28.5(同±0.0)である。マイナスからプラスに転じる見通しの業種は、製造業±0.0(同▲11.7)である。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、建設業▲8.6(同▲14.2)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、卸小売業▲47.8(同▲26.0)である。

平成28年8月の採算DI値(前年同月比)の推移

	平成28年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月(8月~10月)
全産業	▲20.5	▲22.0	▲27.1	▲31.6	▲23.6	▲33.7	▲11.6(▲14.4)
建設	△4.7	±0.0	▲13.0	▲18.1	▲14.2	▲21.7	▲8.6(▲14.2)
製造	▲50.0	▲18.7	▲44.4	▲41.1	▲41.1	▲41.1	±0.0(▲11.7)
卸・小売	▲34.6	▲50.0	▲44.0	▲55.5	▲39.1	▲60.8	▲47.8(▲26.0)
サービス	△7.6	±0.0	±0.0	△7.6	△6.6	±0.0	△28.5(±0.0)



【平成28年8月の仕入単価についての状況】

○8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲19.4(前月水準▲19.7)となり、マイナス幅が0.3ポイント縮小した。

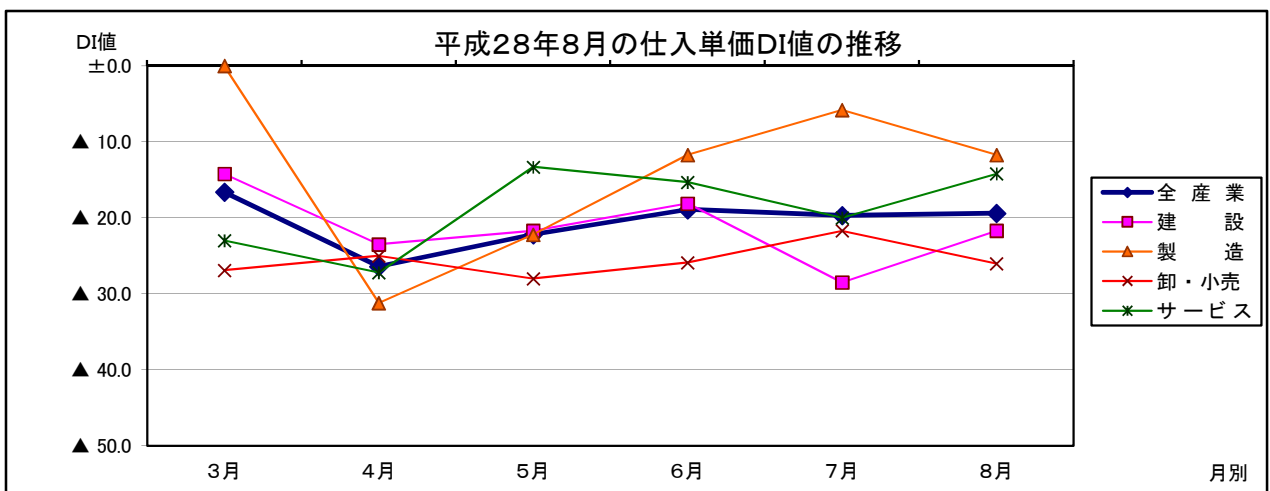
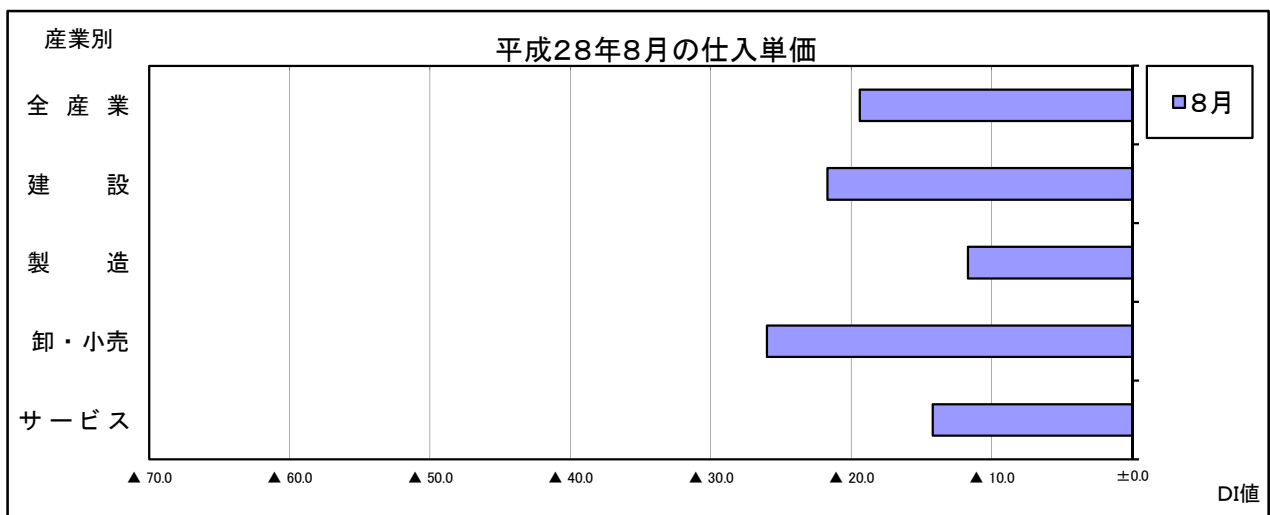
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、建設業▲21.7(同▲28.5)、サービス業▲14.2(同▲20.0)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、製造業▲11.7(同▲5.8)、卸小売業▲26.0(同▲21.7)である。

○向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、▲14.2(前月水準▲15.7)となり、マイナス幅が1.5ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナスからプラスに転じる見通しの業種は、製造業±0.0(同▲17.6)である。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、建設業▲13.0(同▲14.2)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲26.0(同▲17.3)、サービス業▲14.2(同▲13.3)である。

平成28年8月の仕入単価DI値(前年同月比)の推移

	平成28年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月(8月~10月)
全産業	▲16.6	▲26.4	▲22.2	▲18.9	▲19.7	▲19.4	▲14.2(▲15.7)
建設	▲14.2	▲23.5	▲21.7	▲18.1	▲28.5	▲21.7	▲13.0(▲14.2)
製造	±0.0	▲31.2	▲22.2	▲11.7	▲5.8	▲11.7	±0.0(▲17.6)
卸・小売	▲26.9	▲25.0	▲28.0	▲25.9	▲21.7	▲26.0	▲26.0(▲17.3)
サービス	▲23.0	▲27.2	▲13.3	▲15.3	▲20.0	▲14.2	▲14.2(▲13.3)



【平成28年8月の従業員についての状況】

○ 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、 $\Delta 7.7$ (前月水準 $\Delta 13.1$)となり、プラス幅が5.4ポイント縮小した。

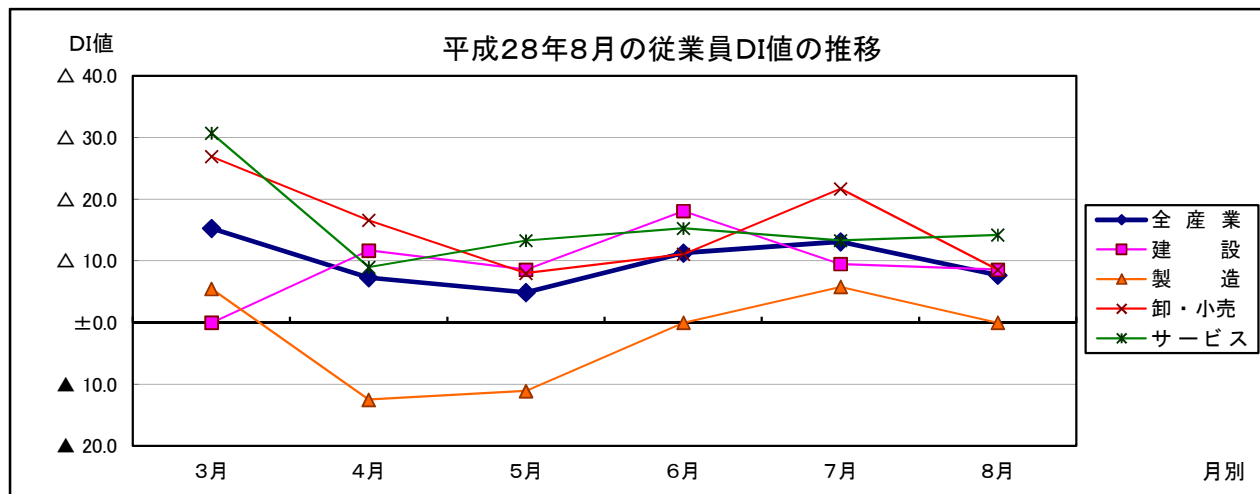
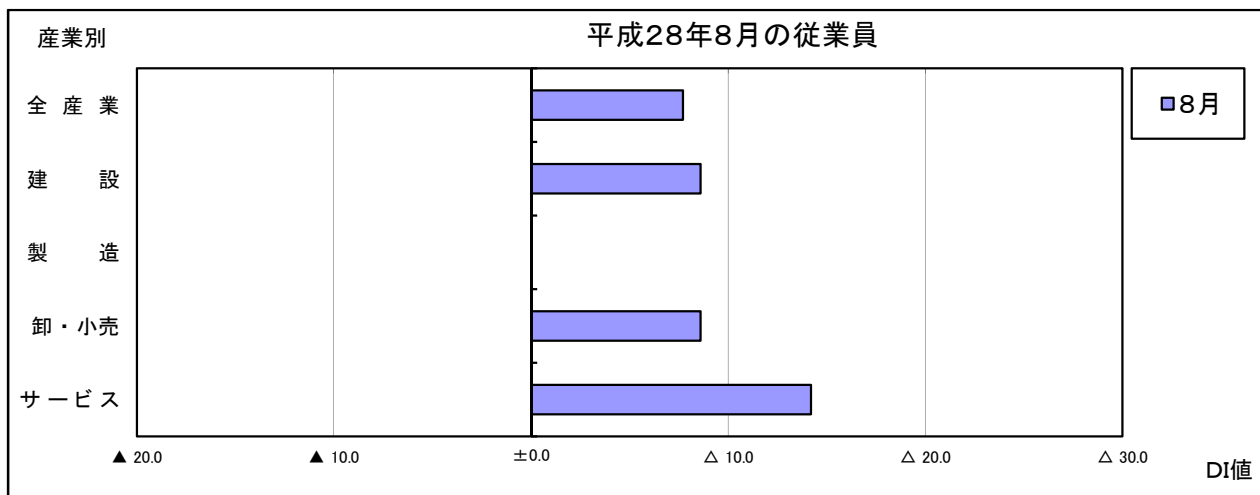
業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大した業種は、サービス業 $\Delta 14.2$ (同 $\Delta 13.3$)である。プラス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、卸小売業 $\Delta 8.6$ (同 $\Delta 21.7$)、製造業 ± 0.0 (同 $\Delta 5.8$)、建設業 $\Delta 8.6$ (同 $\Delta 9.5$)である。

○ 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、 $\Delta 12.9$ (前月水準 $\Delta 14.4$)であり、プラス幅が1.5ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、サービス業 $\Delta 28.5$ (同 $\Delta 6.6$)である。変わらない見通しの業種は、製造業 $\Delta 5.8$ (同 $\Delta 5.8$)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、建設業 $\Delta 17.3$ (同 $\Delta 28.5$)、卸小売業 $\Delta 4.3$ (同 $\Delta 13.0$)である。

平成28年8月の従業員DI値(前年同月比)の推移

	平成28年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月(8月~10月)
全産業	$\Delta 15.3$	$\Delta 7.3$	$\Delta 4.9$	$\Delta 11.3$	$\Delta 13.1$	$\Delta 7.7$	$\Delta 12.9$ ($\Delta 14.4$)
建設	± 0.0	$\Delta 11.7$	$\Delta 8.6$	$\Delta 18.1$	$\Delta 9.5$	$\Delta 8.6$	$\Delta 17.3$ ($\Delta 28.5$)
製造	$\Delta 5.5$	$\blacktriangle 12.5$	$\blacktriangle 11.1$	± 0.0	$\Delta 5.8$	± 0.0	$\Delta 5.8$ ($\Delta 5.8$)
卸・小売	$\Delta 26.9$	$\Delta 16.6$	$\Delta 8.0$	$\Delta 11.1$	$\Delta 21.7$	$\Delta 8.6$	$\Delta 4.3$ ($\Delta 13.0$)
サービス	$\Delta 30.7$	$\Delta 9.0$	$\Delta 13.3$	$\Delta 15.3$	$\Delta 13.3$	$\Delta 14.2$	$\Delta 28.5$ ($\Delta 6.6$)



【平成28年8月の資金繰りについての状況】

○ 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲14. 2(前月水準▲3. 9)となり、マイナス幅が10. 3ポイント拡大した。

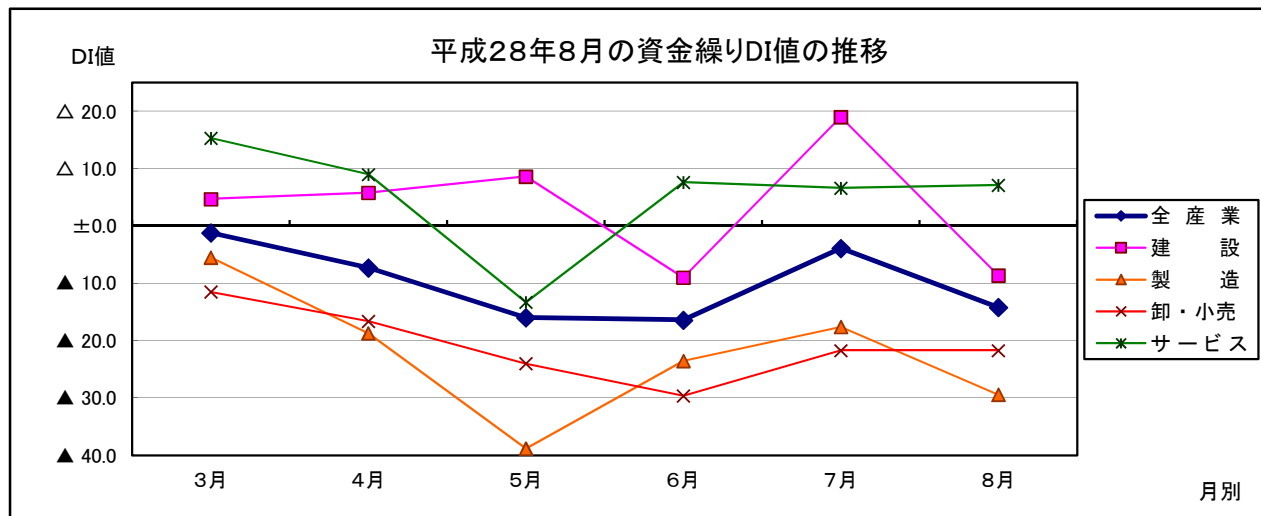
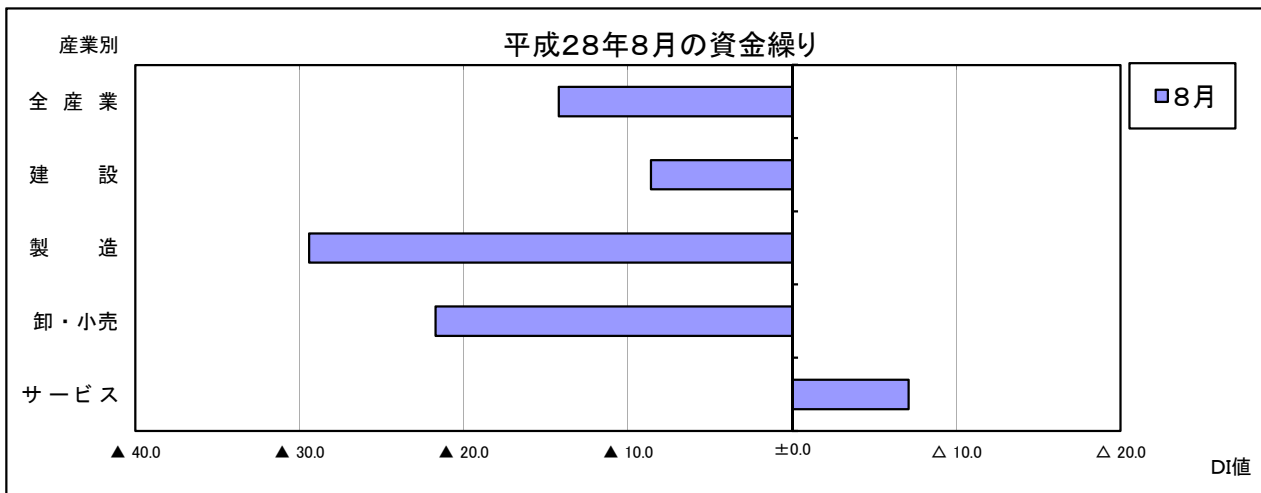
業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大した業種は、サービス業△7. 1(同△6. 6)である。変わらない業種は、卸小売業▲21. 7(同▲21. 7)である。プラスからマイナスに転じた業種は、建設業▲8. 6(同△19. 0)であり、▲27. 6と大幅に悪化した。マイナス幅が拡大した業種は、製造業▲29. 4(同▲17. 6)である。

○ 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、▲6. 4(前月水準±0. 0)となり、マイナス幅が6. 4ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナスからプラスに転じる見通しの業種は、サービス業±0. 0(同▲6. 6)である。変わらない見通しの業種は、製造業±0. 0(同±0. 0)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、建設業±0. 0(同△19. 0)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、卸小売業▲21. 7(同▲13. 0)である。

平成28年8月の資金繰りDI値(前年同月比)の推移

	平成28年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月(8月~10月)
全産業	▲1.2	▲7.3	▲16.0	▲16.4	▲3.9	▲14.2	▲6.4(±0.0)
建設	△4.7	△5.8	△8.6	▲9.0	△19.0	▲8.6	±0.0(△19.0)
製造	▲5.5	▲18.7	▲38.8	▲23.5	▲17.6	▲29.4	±0.0(±0.0)
卸・小売	▲11.5	▲16.6	▲24.0	▲29.6	▲21.7	▲21.7	▲21.7(▲13.0)
サービス	△15.3	△9.0	▲13.3	△7.6	△6.6	△7.1	±0.0(▲6.6)



【DI値集計表】

	売上高(受注・出荷)		採算		仕入単価		従業員	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種	▲ 28.5	▲ 2.5	▲ 33.7	▲ 11.6	▲ 19.4	▲ 14.2	△ 7.7	△ 12.9
建設	▲ 13.0	±0.0	▲ 21.7	▲ 8.6	▲ 21.7	▲ 13.0	△ 8.6	△ 17.3
製造	▲ 47.0	△ 11.7	▲ 41.1	±0.0	▲ 11.7	±0.0	±0.0	△ 5.8
卸・小売	▲ 56.5	▲ 39.1	▲ 60.8	▲ 47.8	▲ 26.0	▲ 26.0	△ 8.6	△ 4.3
サービス	△ 14.2	△ 35.7	±0.0	△ 28.5	▲ 14.2	▲ 14.2	△ 14.2	△ 28.5

	業況		資金繰り	
	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種	▲ 33.7	▲ 11.6	▲ 14.2	▲ 6.4
建設	▲ 17.3	▲ 4.3	▲ 8.6	±0.0
製造	▲ 23.5	△ 5.8	▲ 29.4	±0.0
卸・小売	▲ 65.2	▲ 39.1	▲ 21.7	▲ 21.7
サービス	▲ 21.4	±0.0	△ 7.1	±0.0

【平成28年8月業種別業界内トピックス】

業種別	概況	キーワード	業種
建設	熊本地震以降、耐震補強に関するお問い合わせが増加している。	熊本地震	一般土木建築工事業
	元請企業の景況が即下請けに影響してくる。経費の負担も多く、積算に苦慮している。	先行き不安	電気工事業
	天候の影響で工程のずれが生じ、8月の売上は減少となった。盆以降、9月の引渡し物件が多い中で、人手不足も加わり9月は忙しくなっている。受注価格が厳しい中で、施工の手順・品質の向上が問われ、施工時間が増し、人手不足に拍車をかけている。また、それに加え、事務処理も複雑となり、現場作業・事務ともに人材不足が深刻化している。景況が不透明な中での増員、設備投資は不安感が有り、様子見をしている状況。	売上減少 天候不順 人手不足 先行き不安	その他の職別工事業
	8月は休みが多く売上減少も、熊本県産の畳表で、へり無し畳を希望するお客様が増加。	売上減少	内装工事業
製造業	先月に引き続き受注は好調をキープ。しかしながら短期納期案件が多く、納期確保に苦慮している。	受注回復	その他の機械・同部品製造業
	今年は災害の多い年で、経済への影響が大きくなっている。個々の経済に影響があると、全体の経済も成り立たなくなってくるため、自社の業務内容についても一考していきたい。	天候不順	印刷業
卸小売	8月後半は天候不順もあり、売上が落ち込む。秋物の出足も不調。	天候不順 売上減少	婦人・子供服小売業
	7月以降から百貨店閉店セールが始まり、それに加え競合店もセール競合商品を原価割れで販売しており、その影響で売上が著しく減少。今後もその影響がしばらく続く模様。	値下げ競争 売上減少 競争激化 価格競争	時計・眼鏡・光学機械小売業
	店舗屋上の防水加工、大型看板の付け替え工事、LED照明への変更など、老朽化に対する設備投資を実施した。販売状況については、旧盆までは好調も、以降は売上低下。台風の影響もあり、客数が食品中心に落ち込んだ。衣料品は、残暑の影響で秋物は売上推移は良くない状況となった。	設備投資 売上減少 天候不順	その他の各種商品小売業
	8月後半は悪天候が続いたため、客足があまり伸びなかった。	天候不順 売上減少	その他の各種商品小売業
	柏周辺は県外の小売業から見ると良い地域と映るためか、出店ラッシュが続いた。今もその影響が続いており価格競争が継続的に起きている。他店との違いをより明確にしていけないと、採算が取れない状況になっている。	出店ラッシュ 競争激化 価格競争	各種食料品小売業
	夏季の売れ筋商品である冷菓の売上が伸び悩んだ。	売上減少	菓子・パン小売業
青果物の動向として、8月上旬は入荷単価は増加傾向にあったが、オリンピック開催後は徐々に消費が減少に推移。また、台風の影響により産地に被害が出たため、一部品目が不足になり、総じて野菜・果実ともに単価安取引の傾向となっている。これから秋のイベントシーズンになるため、需要と供給をバランスよく対応できるようにしていきたい。	天候不順(台風) 消費減少	食料・飲料卸売業	
サービス業	8月は宴会等の予約が減り、売上の低下があった。	売上減少	酒場・ビヤホール
	インターネットとの比較購入が増え、商品注文前にお客様の見積もり依頼が増えている。ネット情報を検索してから見積もりを出すため、利益が乗せにくくなっている。会員割引販売を継続しているため、来店数は変わらないが、利幅が薄くなっている。	利益減少	その他の飲食料品小売業
	個人旅行に関しては、新しいアトラクションが増えているUSJにリピーターが増えている。法人需要については、羽田空港国際線増便のためか、柏周辺のお客様の羽田利用希望が増えている。また、秋の旅行シーズンにより職場旅行、学校関連行事が増え、貸切バスの手配が難しくなっている。	受注回復	旅行業
	低額物件の動きは活発。価格は若干上昇傾向にあり、問い合わせ件数は増えているものの、契約までの期間が長くなっている。	受注回復	不動産管理業
	マイナス金利による低金利もあって、資金繰りに若干余裕が生まれた。今後、金利上昇に転じても余裕が持てるように資金繰りの改善に努めていきたい。	マイナス金利 資金繰り良好	不動産賃貸・管理業
	人材不足から人件費が高騰しており、受注はあるものの利益が出せない状況。	人材不足	ソフトウェア業

◎天候不順(売上減少)

各業種より、「天候の影響で工程のずれが生じ、8月の売上は減少となった。」(その他の職別工事業)、「8月後半は天候不順もあり、売上が落ち込む。秋物の出足も不調。」(婦人・子供服小売業)、「旧盆までは好調も、以降は売上低下。台風の影響もあり、客数が食品中心に落ち込んだ。衣料品は、残暑の影響で秋物は売上推移は良くない状況となった。」(その他の各種商品小売業)、「8月後半は悪天候が続いたため、客足があまり伸びなかった。」(その他の各種商品小売業)、などのコメントが寄せられた。

◎人手不足

各業種より、「盆以降、9月の引渡し物件が多い中で、人手不足も加わり9月は忙しくなっている。受注価格が厳しい中で、施工の手順・品質の向上が問われ、施工時間が増し、人手不足に拍車をかけている。また、それに加え、事務処理も複雑となり、現場作業・事務ともに人材不足が深刻化している。景況が不透明な中での増員、設備投資は不安感が有り、様子見をしている状況。」(その他の職別工事業)、「人材不足から人件費が高騰しており、受注はあるものの利益が出せない状況。」(ソフトウェア業)、などのコメントが寄せられた。

◎競争激化(価格競争)

各業種より、「柏周辺は県外の小売業から見ると良い地域と映るためか、出店ラッシュが続いた。今もその影響が続いており価格競争が継続的に起きている。他店との違いをより明確にしていかないと、採算が取れない状況になっている。」(各種食料品小売業)、「7月以降から百貨店閉店セールが始まり、それに加え競合店もセール競合商品を原価割れで販売しており、その影響で売上が著しく減少。今後もその影響がしばらく続く模様。」(時計・眼鏡・光学機械小売業)、などのコメントが寄せられた。











平成28年8月CCI-LOBOとの比較











- 【業況DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲33.7に対し、「CCI-LOBO」が▲24.9で柏の方がマイナス幅が8.8ポイント大きい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、建設業である。「柏の景気」の方が悪い業種は、製造業、卸小売業、サービス業であり、卸小売業では10ポイント以上悪い。
- 【売上DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲28.5に対し、「CCI-LOBO」が▲21.2で柏の方がマイナス幅が7.3ポイント大きい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、建設業、サービス業であり、サービス業では10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、製造業、卸小売業であり、両業種ともに10ポイント以上悪い。
- 【採算DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲33.7に対し、「CCI-LOBO」が▲22.1で柏の方がマイナス幅が11.6ポイント大きい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、建設業、サービス業であり、サービス業は10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、製造業、卸小売業であり、両業種ともに10ポイント以上悪い。
- 【仕入単価DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲19.4に対し、「CCI-LOBO」が▲17.5で柏の方がマイナス幅が1.9ポイント小さい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、サービス業であり、10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業、製造業、卸小売業である。
- 【従業員DI】 全産業合計では、「柏の景気」が△7.7に対し、「CCI-LOBO」が△17.1で柏の方がプラス幅が9.4ポイント小さい。業種別では、「柏の景気」の方がすべて悪く、建設業、卸小売業では10ポイント以上悪い。
- 【資金繰りDI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲14.2に対し、「CCI-LOBO」が▲13.3で柏の方がマイナス幅が0.9ポイント大きい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、建設業、卸小売業、サービス業であり、サービス業では10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、製造業であり、10ポイント以上悪い。











平成28年8月の柏の景気天気図











柏の景気情報と全国CCI-LOBOとの比較











景気天気図					
	特に好調 DI \geq 50	好調 50>DI \geq 25	まあまあ 25>DI \geq 0	不振 0>DI \geq ▲25	極めて不振 ▲25>DI











業況DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 33.7	 ▲ 17.3	 ▲ 23.5	 ▲ 65.2	 ▲ 21.4
CCI-LOBO	 ▲ 24.9	 ▲ 17.8	 ▲ 20.2	 ▲ 38.2	 ▲ 18.9


売上DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 28.5	 ▲ 13.0	 ▲ 47.0	 ▲ 56.5	 △ 14.2
CCI-LOBO	 ▲ 21.2	 ▲ 19.8	 ▲ 18.3	 ▲ 39.4	 ▲ 9.7


採算DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 33.7	 ▲ 21.7	 ▲ 41.1	 ▲ 60.8	 ±0.0
CCI-LOBO	 ▲ 22.1	 ▲ 22.8	 ▲ 16.3	 ▲ 32.7	 ▲ 17.6

仕入単価DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 19.4	 ▲ 21.7	 ▲ 11.7	 ▲ 26.0	 ▲ 14.2
CCI-LOBO	 ▲ 17.5	 ▲ 15.8	 ▲ 8.3	 ▲ 21.8	 ▲ 24.7

従業員DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 △ 7.7	 △ 8.6	 ±0.0	 △ 8.6	 △ 14.2
CCI-LOBO	 △ 17.1	 △ 21.2	 △ 6.3	 △ 23.3	 △ 23.4

資金繰りDI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 14.2	 ▲ 8.6	 ▲ 29.4	 ▲ 21.7	 △ 7.1
CCI-LOBO	 ▲ 13.3	 ▲ 10.7	 ▲ 9.1	 ▲ 23.5	 ▲ 13.8

 は「柏の景気」の方が、10ポイント以上良い項目

 は「柏の景気」の方が、10ポイント以上悪い項目

柏の景気情報

(8月の調査結果のポイント)

調査期間：平成28年8月25日～9月7日

調査対象：柏市内156事業所及び組合に
ヒアリング、回答数77件

柏の景気情報・産業別業況D I

	全産業	建設	製造	卸・小売	サービス
3月	▲25.6	▲4.7	▲44.4	▲34.6	▲15.3
4月	▲26.4	△5.8	▲37.5	▲54.1	±0.0
5月	▲33.3	±0.0	▲61.1	▲60.0	▲6.6
6月	▲27.8	▲9.0	▲35.2	▲51.8	±0.0
7月	▲23.6	±0.0	▲47.0	▲39.1	▲6.6
8月	▲33.7	▲17.3	▲23.5	▲65.2	▲21.4
見通し	▲11.6	▲4.3	△5.8	▲39.1	±0.0

「見通し」は今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しD I

「柏市」の業況

業況D Iは悪化。先行きは依然として厳しく、慎重な見方が続く。

8月の全産業合計のD I値(前年同月比)ベース、以下同じは、▲33.7(前月水準▲23.6)となり、マイナス幅が10.1ポイント拡大した。業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、製造業▲23.5(同▲47.0)である。プラスからマイナスに転じた業種は、建設業▲17.3(同±0.0)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲65.2(同▲39.1)、

サービス業▲21.4(同▲6.6)であり、特に卸小売業ではマイナス幅が26.1ポイント拡大した。

【建設業】からは、「熊本地震以降、耐震補強に関する問い合わせが増加している。」(一般土木建築工事業)、「元請企業の景況が即下請けに影響してくる。経費の負担も多く、積算に苦慮している。」(電気工事業)、「8月は休みが多く売上減少も、熊本県産の豊表で、へり無し豊を希望するお客様が増加。」(内装工事業)などのコメントが寄せられた。

【製造業】からは、「先月に引き続き受注は好調をキープ。しかしながら短期納期案件が多く、納期確保に苦慮している。」(その他の機械・同部品製造業)、「今年は災害の多い年で、経済への影響が大きくなっている。個々の経済に影響があると、全体の経済も成り立たなくなっているため、自社の業務内容についても一考していきたい。」(印刷業)などのコメントが寄せられた。

【卸小売業】からは、「店舗屋上の防水加工、大型看板の付け替え工事、LED照明への変更など、老朽化に対する設備投資を実施した。」(その他の各種商品小売業)、「夏季の売れ筋商品である

冷菓の売上が伸び悩んだ。」(菓子・パン小売業)、「青果物の動向として、8月上旬は入荷単価は増加傾向にあったが、オリンピック開催後は徐々に消費が減少に推移。また、台風の影響により産地に被害が出たため、一部品目が不足になり、総じて野菜・果実ともに単価安取引の傾向となっている。」(食料・飲料卸売業)などのコメントが寄せられた。

【サービス業】からは、「8月は宴会等の予約が減り、売上の低下があった。」(酒場・ビヤホール)、「インターネットとの比較購入が増え、利益が乗せにくく、利幅が薄くなっている。」(その他の飲食料点小売業)、「新しいアトラクションが増えているUSJにリピーターが増えている。法人需要については、羽田空港国際線増便のためか、柏周辺のお客様の羽田利用希望が増えている。また、秋の旅行シーズンにより職場旅行、学校関連行事が増え、貸切バスの手配が難しくなってきた。」(旅行業)、「低額物件の動きは活発。価格は若干上昇傾向にあり、問い合わせ件数は増えているものの、契約までの期間が長くなっている。」(不動産管理業)、「マイナス金利による低金利もあって、資金繰りに若干余裕が生まれた。

今後、金利上昇に転じても余裕が持てるように資金繰りの改善に努めていきたい。」(不動産賃貸・管理業)などのコメントが寄せられた。

8月の景気キーワード
◎天候不順(売上減少)
各業種より、「天候の影響で工程のずれが生じ、8月の売上は減少となった。」(その他の職別工事業)、「8月後半は天候不順もあり、売上が落ち込む。秋物の出足も不調。」(婦人・子供服小売業)、「旧盆までは好調も、以降は売上低下。台風の影響もあり、客数が食品中心に落ち込んだ。衣料品は、残暑の影響で秋物は売上推移は良くなっている状況となった。」(その他の各種商品小売業)、「8月後半は悪天候が続いたため、客足があまり伸びなかった。」(その他の各種商品小売業)などのコメントが寄せられた。

◎人手不足
各業種より、「盆以降、9月の引渡し物件が多い中で、人手不足も加わり9月は忙しくなってきた。受注価格が厳しい中で、施工の手順・品質の向上が問われ、施工時間が増し、人手不足に拍車をかけている。また、それに加え、事務処理も複雑となり、現場作業・事務ともに人材不足が深刻化している。景

況が不透明な中で、増員、設備投資は不安感が有り、様子見をしている状況。」(その他の職別工事業)、「人材不足から人件費が高騰しており、受注はあつるものの利益が出せない状況。」(ソフトウェア業)などのコメントが寄せられた。

◎競争激化(価格競争)
各業種より、「柏周辺は県外の小売業から見ると良い地域と映るためか、出店ラッシュが続いた。今もその影響が続いており価格競争が継続的に起きている。他店との違いをより明確にしていけないと、採算が取れない状況になっている。」(各種食料品小売業)、「7月以降から百貨店閉店セールが始まり、それに加え競合店もセール競合商品を原価割れで販売しており、その影響で売上が著しく減少。今後もその影響がしばらく続く模様。」(時計・眼鏡・光学機械小売業)などのコメントが寄せられた。

CCI・LOBOとの比較
全産業合計では、「柏の景気」が▲33.7に対し、「CCI・LOBO」が▲24.9

で柏の方がマイナス幅が8.8ポイント大きい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、「建設業」である。「柏の景気」の方が悪い業種は、製造業、卸小売業、サービス業であり、卸小売業では10ポイント以上悪い。

CCI・LOBOとの比較
全産業合計では、「柏の景気」が▲33.7に対し、「CCI・LOBO」が▲24.9

で柏の方がマイナス幅が8.8ポイント大きい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、「建設業」である。「柏の景気」の方が悪い業種は、製造業、卸小売業、サービス業であり、卸小売業では10ポイント以上

悪い。

CCI - LOBO

商工会議所早期景気観測 (8月速報)

調査期間：平成28年8月17日～23日

調査対象：全国の423商工会議所が2981企業にヒアリング調査を実施

全国の業況

業況DIは、横ばい続く。先行きは改善見込むも、慎重な見方崩れず

8月の全産業合計の業況DIは、▲24.9と、前月から▲0.4ポイントのほぼ横ばい。夏休みの堅調な観光需要のほか、賃貸住宅など民間工事に持ち直しの動きがみられる。また、円高などによる原材料価格の下落や依然として低い水準の燃料費の恩恵を指摘する声も聞かれた。他方、個人消費の鈍い動きや、販売先からのコストダウン要請の強まり、慢性的な人手不足による受注機会の損失や人件費の上昇などが、中小企業のマインドを下押ししており、業況感は足踏み状況となっている。

先行きについては、先行き見通しDIが▲21.4（今月比+3.5ポイント）と改善を見込むものの、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実体はほぼ横ばい。観光需要や住宅建設が全体を牽引するほか、経済対策・補正予算による公共工事の増加、個人消費の喚起に期待する声が聞かれる。他方、人手不足の影響が大きな足かせとなる中、消費低迷や円

高、海外経済減速の長期化を懸念する声は多く、中小企業においては、先行きへの慎重な見方を崩していない。

産業別にみると、今月の業況DIは前月に比べ、建設業で改善、製造業でほぼ横ばい、その他の3業種で悪化した。

各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

【建設業】「民間工事の案件は多いため、売上は堅調に推移している。資材価格も落ち着いていることから、今後も採算のとれる案件に集中したい」（一般工事業）「アスファルト製品を除き建築資材は、全体的に下落が続いている。ただし、今後、熊本地震の復旧・復興事業が進んでいくにつれて、資材が品薄になり、価格は下げ止まると見ている」（建築工事業）

【製造業】「スマートフォンなどの電子部品生産が向上き、半導体製造装置の受注は好調である」（制御装置製造業）「造船業からの発注の激減により、売上は落ち込ん

だ。今は受注を確保することに精一杯で、収益力の維持・向上に取り組み余力がない」（金属加工機械製造業）「売

上が順調に推移しているため、将来を考え、これまでの採用活動を見直し、中途採用だけでなく、新卒採用も開始した」（調味料製造業）

【卸売業】「円高に加え、銅などの原材料価格自体も下落しているため、取引先からの値下げ要請が強まり、売上が減少した」（ケーブル・化成製品等卸売業）「漁獲量が極端に悪く、売上、採算ともに悪化した。8月下旬からのサンマ漁解禁を契機に、売上を増加させたい」（水産物卸売業）

【小売業】「日傘等の夏物商品や飲食料品の売上は好調だが、高額品販売の落ち込みが深刻で、売上全体は減少した。お金に余裕のあるシニア層を中心に需要の発掘に努めている」（百貨店）「暑い日が続いているため、秋物衣料の動きが鈍く、売上は減少した」（商店街）「高齢者の顧客が多く、猛暑の影響から来店客数が減少している」（飲食料点小売業）

【サービス業】「燃料代は上昇しているものの、前年に比べ依然低い水準にあるため、採算はとれている。連日猛暑が続いていることで、飲料品の出荷は多い」（運送業）「8月はイベントが多く、近隣の旅館を含め客室の稼働率は高い」（旅館業）「売上は好調だが、人手不足から人件費が上昇し、採算は悪化している。また、繁忙のためサービスの質が低下していないか気がかりである」（レストラン）

全国・産業別業況DIの推移

「見通し」は当月水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

	全産業	建設	製造	卸売	小売	サービス
3月	▲23.6	▲17.8	▲18.4	▲25.9	▲41.8	▲14.6
4月	▲21.0	▲18.8	▲16.2	▲31.3	▲32.0	▲12.7
5月	▲22.8	▲21.0	▲13.2	▲25.1	▲36.2	▲20.4
6月	▲24.8	▲22.5	▲22.1	▲30.4	▲39.9	▲12.5
7月	▲24.5	▲22.6	▲20.8	▲27.5	▲37.2	▲16.9
8月	▲24.9	▲17.8	▲20.2	▲33.1	▲38.2	▲18.9
見通し	▲21.4	▲18.1	▲19.0	▲27.1	▲32.8	▲13.5